

志学地区温泉活用会議の取組み



1. 温泉活用会議立ち上げの経緯

- ・地区まちづくり計画策定に向けた住民ワークショップや住民アンケートの中で、地区内の共同浴場「鶴の湯、亀の湯」の存続が危ぶまれるという意見や、「温泉」が志学の宝の一つという意見がでてきました。
- ・そこで、「温泉を活用する」というテーマをまちづくり計画の中からはまず取り組む項目の一つとし、温泉活用会議を立ち上げ、平成30年6月から住民での話し合いを開始しました。

2. 活動の様子

- ・現状や課題を分析するため、志学地区住民と鶴の湯、亀の湯の利用者を対象に、アンケートを実施しました。
- ・アンケート結果を踏まえ、地域でどういった取組みができるのか検討を行い、「三瓶温泉共同浴場活用プラン」を取りまとめました。

3. 地域内イベントの開催

- ・地元住民に共同浴場に親しみをもってもらうことを目的に、平成30年12月に利用促進に向けたイベント（下記写真）を開催しました。
- ・今後も多くの方に利用していただけるよう、住民が主体となった取組みを進めていきます。



（左）地域内外の利用者による清掃活動を行いました！



（右）冬至にちなんだゆず湯・りんご湯（写真）のイベントを行いました！